本館一階

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

※取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅰ　理念に基づく運営　１～５(自己№1～24・外部№1～14)				自己評価24項目・外部評価14項目	18	
Ⅰ理念に基づく運営	１　理念の共有(自己№1～3・外部№1～2)			自己評価３項目・外部評価２項目	3	
	１理念の共有	1 外部評価1	**○地域密着型サービスとしての理念【外部評価】** 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	高校の体育祭等の見学。　春風での絵画教室へ参加。　夏祭りでの地域の方との交流。　その人らしい生活・環境を重視している。	1	入居者様、ご家族のニーズを把握し、適切な理念となっているか評価をおこなっていく。
		2 外部評価2	**○理念の共有と日々の取り組み【外部評価】** 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	生活の主体は、入居者様であり、自己決定を尊重し、ケアにあたる。単なる理念にならないよう、ミーティング時に確認している。	1	ミーティング等で、再確認する。
		3	**○家族や地域への理念の浸透** 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	地域の方へ説明会を行っている。来訪時、生活に必要な事を根拠とともにはなしあいを行っている。	1	直接体験や、見学の機会を設けて生きたい。
	２　地域との支え合い(自己№4～6・外部№3)			自己評価３項目・外部評価１項目	3	
	２地域との支え合い	4	**○隣近所とのつきあい** 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩の時等、挨拶をしている。が、会話までは、できていない。	1	気軽に来て頂けるよう働き掛けたり、こちらから参加したりし、関係を作っていきたい。
		5 外部評価3	**○地域とのつきあい【外部評価・重点】** 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	数名は、ホームが現住所の為、地区の老人会に入会している。また、敬老会とう、催しにも参加している。	1	自治会・行事への参加、交流を進める。

社会福祉法人福岡市社会福祉協議会
介護サービス評価センターふくおか

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅰ理念に基づく運営	２地域との支え合い	6	**○事業所の力を活かした地域貢献** 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	老人福祉、介護保険、医療について協力できることを法人として会を設け取り組んでいる。	1	地域の方にも参加していただき、協議していきたい。
	３　理念を実践するための制度の理解と活用(自己№7～11・外部№4～7)			自己評価５項目・外部評価４項目	5	
	３　理念を実践するための制度の理解と活用	7 外部評価4	**○評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】** 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	年一回の外部評価の項目を職員間で、話し合い、ケアにつなげている。	1	外部評価の項目･評価を理解し、より生かして、ケアに取り組む。
		8 外部評価5	**○運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】** 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ミーティング等で、そこでの意見を出し、検討している。　　夏祭り等の行事を通じて、地域の方々との交流がある。	1	今後、活動報告、助言をいただける機会を設け、向上をはかる。
		9 外部評価6	**○市町村との連携【外部評価・重点】** 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	直接会うことはないが、電話にて現状報告と、協議を重ねている。グループホーム協議会を通して提案を継続していく。	1	引き続き、検討していく。
		10 外部評価7	**○権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】** 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員にわ、まだ、制度を理解する取り組みがすくない。	1	勉強会等で、学ぶ機会を得る。
		11	**○虐待の防止の徹底** 管理者や職員は、高齢者虐待防止関適法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	学ぶ機会が設けられてない。	1	勉強会・講習等で、学ぶ機会を得る。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅰ理念に基づく運営	4　理念を実践するための体制(自己№12～18・外部№8～10)			自己評価７項目・外部評価３項目	4	
	4　理念を実践するための体制	12	**○契約に関する説明と納得** 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前に想定されることや事例をまじえ説明を行い理解をえている。	0	
		13	**○運営に関する利用者意見の反映** 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を年1･2回おこなっている。公の苦情相談窓口を紹介している。日ごろのコミュニケーションのなかから想いを確認している。	1	今後も、言葉に表せない方たちの気持ちにも配慮していく。
		14 外部評価8	**○家族等への報告【外部評価・重点】** 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族来訪された際や、月に一度、おたよりを、お出しし、近況を、お伝えしている。又、二ヶ月毎にグループホーム全体のお便りを発行している。状態の急変時は個別に、速やかに電話連絡している。	0	
		15 外部評価9	**○運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】** 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族から頂いた、ご意見の内容を、ミーティングとう、職員間で共有し、話し合う。家族会で出た意見等は、経過を報告している。	1	ご家族によっては、充分に聞き取ることができないため、より良い関係作りを進めている。
		16	**○運営に関する職員意見の反映** 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	度々顔をあわせて現場の考え、意見と上の考え、意見をそり合わせている。	1	更に回数を増やすなどして、密に連絡をとっていく。
		17	**○柔軟な対応に向けた勤務調整** 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	話し合い、調整を行ってはいるが、現状に適した形を定められていない。夜勤時間の調整、日勤の配置、ユニットスタッフ全員参加のミーティング時の応援。	1	どのような体制が必要なのか、今後も試行錯誤を重ねていく。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅰ理念に基づく運営	4 理念を実践するための体制	18 外部評価10	**○職員の異動等による影響への配慮【外部評価】** 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット毎にスタッフを固定し、交代を、最小限に抑えている。移動の際には、影響を協議のうえ、慎重におこなっている。	0	
	5　人材の育成と支援(自己№19～24・外部№11～14)			自己評価６項目・外部評価４項目	3	
	5 人材の育成と支援	19 外部評価11	**○人権の尊重【外部評価・追加】** 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用時、性別、年齢、経験等で判断していない。配属に関して、個性を認めたうえで、配慮している。	0	
		20 外部評価12	**○人権教育・啓発活動【外部評価・追加】** 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	福岡市でおこなわれえいる人権尊重週間にあわせて、各地区の人権を尊重する市民の集いに参加。参加できなかった職員へ報告発表の機会を設ける。	0	
		21 外部評価13	**○職員を育てる取り組み【外部評価】** 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症実践者研修、認知症実践リーダー研修。担当、サブリーダー、リーダー等職務教育。	1	研修等に参加できないスタッフへの教育体制の確保。
		22 外部評価14	**○同業者との交流を通じた向上【外部評価】** 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会の勉強会交流会に参加。同地区ブロック内での研修会意見交換会、親睦会。	1	交換研修等、検討中。
		23	**○職員のストレス軽減に向けた取り組み** 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	グループホーム協議会の相談窓口の紹介。年四回程度、親睦会。個別相談等	1	現在の対応でわ充分にスタッフのストレスが軽減されてないため、更なる取り組みが必要。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 人材の育成と支援	24	**○向上心を持って働き続けるための取り組み** 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各スタッフが、入居者の担当を持っており、責任、達成感を実感しつつ、仕事内容、活動内容を話し合ってる。	0	
Ⅱ　安心と信頼に向けた関係作りと支援　１～２(自己№25～34・外部№15～16)				自己評価１０項目・外部評価２項目	1	
Ⅱ　安心と信頼に向けた関係作りと支援	1　相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己№25～28・外部№15)			自己評価４項目・外部評価１項目	1	
	1　相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	25	**○初期に築く本人との信頼関係** 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	契約、入居前に面談を行い本人の声に耳を傾け確認を行っている。	0	
		26	**○初期に築く家族との信頼関係** 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	電話、訪問等で繰り返し機会を設けている。	0	
		27	**○初期対応の見極めと支援** 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ほんわかハウス利用だけでなく、ニーズを把握した上で、適切なサービスの紹介をおこなっている。	1	多様化するサービスの情報入手。
		28 外部評価 15	**○馴染みながらのサービス利用【外部評価】** 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家具等を一時に搬入するのでわなく、その方の状態に合わせて、行っている。場合によってわ自宅と行き来しながら時間をかけている。状況によっては、ご家族等に、一緒に泊まっていただく。	0	
	2　新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価№29～34・外部評価№16)			自己評価６項目・外部評価１項目	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	29 外部評価 16	**○本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】** 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者様と一緒に過ごし、活動をともにしたり、話しをして、楽しく過ごして頂けるよう努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅱ　安心と信頼に向けた関係作りと支援	２　新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	**○本人を共に支えあう家族との関係** 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族来訪された際、近況を、お伝えし、ご本人が好まれる事等を、お伺いしケアにつなげる。ご家族の思いを大切に、家族なしでわ入居者の生活は成り立たない事を説明。ともに関係を深めている。	0	
		31	**○本人と家族のよりよい関係に向けた支援** これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	双方の思いを大切にこちらの考えが押し付けにならないよう配慮している。お互いに伝える際、表現や言葉に気をつけている。	0	
		32	**○馴染みの人や場との関係継続の支援** 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人にかわって連絡をとっている。写真等をもちいて、働き掛けをおこなっている。	0	
		33	**○利用者同士の関係の支援** 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え渥えるように努めている	声を掛けたり、一緒の時間を過ごしたりと、孤立する時間を少なく努めている。その場の状況に応じて、対応している。	0	
		34	**○関係を断ち切らない取り組み** サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	手紙のやりとりや、来訪がある。	0	
Ⅲ　その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント　１～４ (自己№35～51・外部№17～22)				自己評価１７項目・外部評価６項目	5	
	１　一人ひとりの把握(自己№35～37・外部№17)			自己評価３項目・外部評価１項目	2	
	１　一人ひとりの把握	35 外部評価17	**○思いや意向の把握【外部評価】** 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の意向･希望に添ったケアに努めている。センター方式等、活用し、入居者本位にスタッフで協議している。	1	スタッフの思い入れが強くなりやすいため、複数のスタッフで協議し、常に確認している。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅲ　その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1　一人ひとりの把握	36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族に伺ったりし、これまでの生活の様子を、職員間で、共有している。情報を、データベース化し、情報の把握に努めている。	1	不足している情報の収集。
		37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	申し送り･記録で把握している。	0	
	2　本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己№38～40・外部№18～19)			自己評価３項目・外部評価２項目	1	
	2　本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	○チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	ご家族に、意見を頂いているが、カンファレンスにわ参加していない。意向を踏まえたケアプランとなるよう意識し、途中、意見を聞いてにる。	1	ご本人・ご家族のカンファレンスへの参加。
		39 外部評価19	○現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	個別に、カンファレンスを行っている。　状態が変わった時わ、ご家族に連絡をし、介護計画の変更が必要な時わ、見直し･新たに、変更している。	0	
		40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	出来事等、記録に残し、申し送り･ミーティング時にて、情報を共有している。	0	
	3　多機能を活かした柔軟な支援(自己№41・外部№20)			自己評価１項目・外部評価１項目	1	
	3　多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	○事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設の施設や、協力機関と協議している。	1	充分に活用できているとわいえないため、今後更に柔軟に対応していく。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅲ　その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	４　本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己№42～51・外部№21～22)			自己評価１０項目・外部評価２項目	1	
	4　本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	42	**○地域資源との協働** 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアのうけいれをおこなっている。	1	地域資源が活用できていないため、運営推進会議を通じて活用していく。
		43	**○他のサービスの活用支援** 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	法人内外と連絡をとりつつおこなっている。	0	
		44	**○地域包括支援センターとの協働** 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括とわできていない。運営推進会議への参加をきっかけに、情報交換をおこなっている。	0	
		45 外部評価21	**○かかりつけ医の受診支援【外部評価】** 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人の状況等、変化があれば、ドクターに伝え、連携をとっている。医療連携日誌をもちいている。	0	
		46	**○認知症の専門医等の受診支援** 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医と良い関係作りが実現しており、必要に応じて相談し受診している。	0	
		47	**○看護職との協働** 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携をとっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	48	**○早期退院に向けた医療機関との協働** 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時より担当医、看護師と連絡をとり早期に退院できるようつとめている。	0	
		49 外部評価 22	**○重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】** 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と練り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に医師と面談をおこない、節目毎に面談をおこなっている。	0	
		50	**○重度化や終末期に向けたチームでの支援** 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	自分達の力を過大評価せず、見極めをおこないつつ支援している。	0	
		51	**○住み替え時の協働によるダメージの防止** 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み替えが決定する以前より協議し、配慮している。	0	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 １～２ (自己№52～89・外部№23～33)				自己評価３８項目・外部評価１１項目	10	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己№52～81･外部№23～30)			自己評価３０項目・外部評価９項目	9	
	1 その人らしい暮らしの支援	(1) 一人ひとり尊重(自己№52～54・外部№23～24)		自己評価３項目・外部評価２項目	1	
		52 外部評価 23	**○プライバシーの確保の徹底【外部評価】** 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個々の生活歴に合わせた声掛けを心がけている。記録類は、専用の棚で管理している。	0	
		53	**○利用者の希望の表出や自己決定の支援** 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	こちらで決めるのでわなく、選択肢を設けるなどおこない、説得でわなく、納得していただいてから支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1　その人らしい暮らしの支援	54 外部評価24	**○日々のその人らしい暮らし【外部評価】** 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のリズム・希望を把握し支援できるよう意識的に努めているが、職員主導になってしまうこともある。	1	効率的に考えるのでわなく、サポート役として取り組む。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己№55～60・外部№25～26)	自己評価６項目・外部評価２項目	2	
		55	**○身だしなみやおしゃれの支援** その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容･美容は本人の望む店に行けるように努めている	希望がある場合わ、外に出掛けているが、以外でわ、理、美容師が、月に一度、訪問している。	0	
		56 外部評価25	**○食事を楽しむことのできる支援【外部評価】** 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	好みをお聞きしたり、料理を、一緒に作ったりと、負担とならないよう働き掛けている。	0	
		57	**○本人の嗜好の支援** 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	好みを把握し、いつでも提供できるように、品物をストックしている。　又、ご本人の状態よって対応している。	0	
		58	**○気持ちよい排泄の支援** 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	使用を減らす事わ出来ていないが、ある程度の間隔を把握し、時間で、誘導している。	1	残存機能を見極め、対応策を検討。
		59 外部評価26	**○入浴を楽しむことができる支援【外部評価】** 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望は、出来る限りお聞きしている。　職員から、声を掛けている。　スタッフの出勤人数によってわ、希望い添えないときもある。	1	入居者・家族の思いの把握、その対応策の検討。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1　その人らしい暮らしの支援	60	**○安眠や休息の支援** 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	自由に休んで頂けるよう、寝具の整理をしておく。画一的な起床時間、就寝時間を設けず個々のペースに添って支援している。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己№61～66・外部№27～28)	自己評価６項目・外部評価２項目	4	
		61 外部評価 27	**○役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】** 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一入ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	野菜きり・散歩・歌、等、活躍される場面を作る。	1	個別に対応する時間が充分でない為、職員、時間の確保。
		62	**○お金の所持や使うことの支援** 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご一緒に、買い物等、でかけたりするが、精算わ、職員で行っている。又、金銭の管理も、職員。	1	少しでも多く、ご本人の希望通りに対応できるよう支援を続けていく。
		63 外部評価 28	**○日常的な外出支援【外部評価】** 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物･散歩　等、ご本人の希望に、出来る限り添っている。	0	
		64	**○普段行けない場所への外出支援** 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	野球観戦や、外食の希望、又、お聞きし、時間をもうけている。	1	更に機会を多く設けていく。
		65	**○電話や手紙の支援** 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を希望された際にわ、応じているが、職員からの働き掛けは少ない。	1	ニーズを確認しつつ働きかけを行っていく。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1　その人らしい暮らしの支援	66	**○家族や馴染みの人の訪問支援** 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	共有スペースや、居室等の汚れ･整理整頓にきをつけている。	0	
		(4)	安心と安全を支える支援(自己№67～74・外部№29～30)	自己評価８項目・外部評価２項目	0	
		67	**○身体拘束をしないケアの実践** 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	理解できている。　おこなっていない。身体拘束廃止委員会の設置。	0	
		68 外部評価29	**○鍵をかけないケアの実践【外部評価】** 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ご本人希望以外の、不必要な施錠は、おこなっていない。	0	センサーの活用。
		69	**○利用者の安全確認** 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常にどこで何をされてあるかをご本人に影響が出ないように確認している。	0	張り紙、暖簾の活用。
		70	**○注意の必要な物品の保管・管理** 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険が考えられる場合は、検討し、対応している。	0	
		71	**○事故防止のための取り組み** 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルを作成し、ミーティング･勉強会等で、知識を得ている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1　その人らしい暮らしの支援	72	**○急変や事故発生時の備え** 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	ミーティングで統一する。　年一回救命講習をうけている。	0	
		73 外部評価 30	**○災害対策【外部評価】** 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回避難訓練を実施している。	0	
		74	**○リスク対応に関する家族等との話し合い** 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	離園や転倒など様々な予測される事故などを説明しつつ普通の生活の中に考えられるリスクについて説明し同意を得ている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己№75～81・外部№31)	自己評価７項目・外部評価１項目	2	
		75	**○体調変化の早期発見と対応** 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員間で申し送り、ドクター･管理者に、報告･伝達して、指示を仰ぐ。日頃の状態から注意し体調の変化を見逃さないようにしている。変化が見られたときにわ、医療機関と連携している。	1	変化をにのがさない為の各スタッフのスキルアップ。
		76	**○服薬支援** 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方されている薬を一覧表にまとめ処方目的、副作用、用法、用量を明記している。その他、追加、変更等を医療連携日報にて確認している。	0	
		77	**○便秘の予防と対応** 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	薬だけにたよらず、水分、食物繊維を含んだ食材の使用、適度な運動をおこなっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1　その人らしい暮らしの支援	78	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯科医往診時、様子を伝え、ケアの方法をたずねている。	0	
		79 外部評価 31	○栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事記録を記入する。　体調を崩された際等、ドクターと連携をとっている。一食単位でわなく、生活に必要な栄養、水分が、確保できているか、個別に確認、他言うしている。	0	
		80	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の収り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、ＭＲＳＡ、ノロウイルス等）	感染症のマニュアルがある。	1	どの職員でもおこなえるように、周知徹底する。
		81	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器乾燥機の使用。　ハイター消毒の実施。冷蔵庫内･賞味期限のチェック。　生ものの取り扱いに注意。　手洗い実施。	0	
	2　その人らしい暮らしを支える生活環境づくり　(1)～(2) (自己№82～89･外部№32～33)			自己評価８項目・外部評価２項目	1	
	2　その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	(1)	居心地のよい環境づくり(自己№82～86・外部№32～33)	自己評価５項目・外部評価２項目	0	
		82	○ 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りに植栽や、ベンチがある。	0	
		83 外部評価 32	○居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテン、障子等で調整し、花や飾り物等で季節が感じられるようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2　その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	**○共用空間における一人ひとりの居場所づくり** 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気に入られた場所や、座席を、持っておられる。くつろぐことの出来るソファーがある。	0	
		85 外部評価 33	**○居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】** 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具や、写真等、今まで使われた物を、配置している。	0	
		86	**○換気・空調の配慮** 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	起床後の居室、就寝後のリビングで窓を開け換気している。気温・湿度に配慮している。	0	
		(2)	本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己№87～89)	自己評価３項目	1	
		87	**○身体機能を活かした安全な環境づくり** 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ベッドの高さ、家具の配置、補助具等、個別に対応。	0	
		88	**○わかる力を活かした環境づくり** 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	表示方法や説明方法を、一人ひとりにあわせて提供している。	0	
		89	**○建物の外周りや空間の活用** 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	植栽してあり、外にでられた際は、楽しんでいただける。　テラスがあり、プランターもあるが、洗濯物がほしてあり、活用できてない。	1	テラスを整理し、活用できるよう整備したい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅴ　サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	
Ⅴ　サービスの成果に関する項目		90	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の２／３くらいの ③利用者の１／３くらいの ④ほとんど掴んでいない	1	
		91	○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に１回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	1	
		92	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の２／３くらいが ③利用者の１／３くらいが ④ほとんどいない	3	
		93	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の２／３くらいが ③利用者の１／３くらいが ④ほとんどいない	2	
		94	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の２／３くらいが ③利用者の１／３くらいが ④ほとんどいない	3	
		95	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の２／３くらいが ③利用者の１／３くらいが ④ほとんどいない	2	
		96	○利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の２／３くらいが ③利用者の１／３くらいが ④ほとんどいない	3	
		97	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	①ほぼ全ての家族と ②家族の２／３くらいと ③家族の１／３くらいと ④ほとんどできていない	3	
		98	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない	3	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ｖ　サービスの成果に関する項目		99	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	2	
		100	○職員は、活き活きと働けている	①ほぼ全ての職員が ②職員の２／３くらいが ③職員の１／３くらいが ④ほとんどいない	2	
		101	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の２／３くらいが ③利用者の１／３くらいが ④ほとんどいない	3	
		102	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族と ②家族等の２／３くらいと ③家族等の１／３くらいと ④ほとんどできていない	3	
Ｖ　サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 （該当番号を該当番号欄に入力すること）	該当番号	

※　Ｖサービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

※　番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

※　項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。